

資料3

生徒のメール【「情報の評価」について学んだこと】より抜粋

私は今まで、インターネットの情報や、誰かから発信されるすべての情報は正しいような気がして、あんまり深く考えないでいろいろなことを調べたりしてきたのですが、今日の授業をやって信憑性があるかないかをしっかり見極めた方がよいということがよくわかりました。何気ない情報も時には大変なことになってしまうということも教科書で読んでわかりました。

これから情報を検索したりする際には、更新日時をしっかりと確認したり、安心できるサイトかどうかを判断してから自分の中に情報を入れていく必要があると思いました。

一つの情報を判断する際には、みんな一人一人の考え方が違うのだから、人の数だけ情報の解釈の仕方があるわけであるから、そこも注意して情報が探せるようになりたいと思います。

大手の団体が提供しているからといって、必ずしもその情報が正しいということはなく、また、個人が運営しているサイトも、信憑性がないわけではないと思った。ただ、どれが正しい情報で、どれが誤った情報なのかを判断するのは難しいと思う。

インターネットなどは本当に便利だけど、できる限りのことは自分でやってそれから頼った方がいいと思う。あと、1つのサイトだけを見て判断するのではなくていくつものサイトを見て、比較した方がいいと思う。

それから、これはもし自分がサイトを運営する側の立場だったらの話だけど、世の中のものの移り変わりが早いから、毎日更新しないと無意識で誤った情報を公開してしまうこともなきにしもあらずなのでは・・・？

今までの情報の授業では情報を出している送り手の意図を考えず、自分が探している事のみについてしか考えていなかった。

だから2番目に高い建物を探す時なども

これは2番目のことがないから駄目

というように思っていたこともあり...

送り手の意図も考えようと思った

情報がたくさん溢れている現在..

本当に正しい情報なのかを見極めることも大切

情報には意図的であるにせよないにせよ、誤りがあるときがある。

そのときの情報の取捨選択の方法、基準などを学べたのが良かった。またそれは自分が情報を発信する側になった場合にもいえることで、これを応用して正しい情報を発信できるようになりたい。

現代は情報過多の時代なので、きちんと情報を見極めることが大切だと改めて感じました。

情報を鵜呑みにしないことはもちろん大切だし、自分なりの価値観（それだけでもだめけど）を持つことが大切だと思いました。

また、個人の事は簡単には信用しなくても大きな名の知られた団体だと信用してしまいがちなので、気をつけようと思いました。（最近、話題になった、あるあるのことなんか私にとってはビックリした事件でした）

人は「これが正しい」というふうに提示されてしまうと、それが本当に正しいかどうか確認などをせず、その情報を正しいと信じてしまう可能性があることがあるので、情報源などから信憑性があるかどうかを判断することが必要だと思った。

また、その当時は正しかったものでも過去と現在では内容が変化する可能性もあるので、その情報が提供された時期を確認する必要があると思う。

自分の求める情報と提供者が本当に提供したい内容が違っている場合があるということも、頭に入れておくべきだと思う。

同じ事を言っている、言い回しや表現方法で微妙に伝わり方も違うから、ただ、提供されたものを鵜呑みにするだけではなく、自分の頭で考えて情報の善し悪しなどをきちんと判断することが大切だと思う。

制作者がどういう意図でそのサイトを作ったのか、またそのサイトの情報はどこからきているものなのか。情報の送る側はその点に注意して送るべきだし。情報の受け取る側はその点を頭において情報を鵜呑みにしないことを心がけなくてはならない。

またマスメディアの情報さえ操作されているということを気につけ、大塚さん、高島アナだから信頼できるということはないのだということを心に留めておくべきであろう。

この授業ではどの情報が正しいのか、信用していいのか、などを学ぶことができました。

検索して上の方に出てきたからそれを信じるだけでなく、誰が制作し、ちゃんと更新させているかなどを調べることの大切さを学びました。

あふれている情報を選ぶことは大切だと思いました。

まず第一に情報を判断するのは自分自身だということ。

特に、ディスカッションを通してクラスメイトと自分との情報の判断基準の違いに驚いた。

また色んな捉え方や、評価するためのテクニックを学べて良かったとも思う。

これからのインターネット生活に役立てたい。

ディスカッションをしてみてもおなじページをみても人によって考え方や目のつけるところがかなりちがうんだなぁと思いました。

また、ページによって信憑性がいろいろかわってくると思ったので、一つのページだけを信じこまないでいろいろなページを参考にした方が情報の信憑性はたかくなるのかなぁと思いました。

ページの信憑性をあげるためには発信者の情報や更新日や作成日の情報もチェックする必要があるのかなぁと歩もいました。

伝達されている源となる事件だったり情報が決して“生”ではないこと！

これを心に留め、情報を扱うべきですね。

社会に出るまで、そう長くないと思います。

今、自分が見えている世界はおそらく、とても小さく社会に出てみると、もっと広い世界、そして混乱するほどに網羅した情報が散漫していることでしょう。

今回この授業において、これから必要不可欠な“情報の評価“について学べて、自分の益になりましたね。

けど本当に益になるのは、実生活で伝達された情報を見極める、

その瞬間でしょう！

判断力を養っていこう～keep goin'on!!

Thank you for your magnificent lecture.

情報には正しいものとそうでないものがあり、そしてそれをどう判断するか難しいところがあることが分かりました。とくにインターネットは、世界中の様々な人が利用でき、様々な情報が交錯しています。

その情報を評価するにはまず発信者が信頼できそうか調べることだと知りました。でも情報とはこんな簡単な言葉で言い表せないほど幅広くそして理解するには難しいものでした。結局その情報を信じるか信じないかは自己判断です。

私はいままでなにも考えずネットというものを利用してきましたが、これからはもう少し気をつけて利用したほうがいいと思いました。